

貫、第六位は福島縣の二百四萬四千二百二十二貫で二百二萬三千五百六貫の收籾を見た茨城縣は第七位である

麥の實收高

本縣が第一位

全國の昭和十二年麥實收高は去る九月四日農林大臣官房統計課から發表された、大麥は五百四十五萬二千九百八十七石で豫想收穫高に比し三萬五千三百七十七石を増し、前年實收高に比し十三萬三千二百四十石の増收を見たが前五ヶ年平均實收高に比較すると十六萬九千二百七十七石を減少して居り八十萬

六千六百六十四石の實收を見た茨城縣が全國の首位を占めて居る。又小麥は八百八十二萬三千六百三十七石で豫想收穫高に比し十二萬二千七百二十七石、前年實收高に比し七十四萬三千五百七十六石、前五ヶ年平均實收高に比し百十六萬五千六百十三石を何れも増加して居り茨城縣は七十二萬四千九百九十一石を以て全國の第一位である。稈麥は總數五百七十九萬九千六百五十五石で豫想收穫高に比し十五萬五百五十五石、前年實收高に比し十二萬九千二百十八石を何れも増加し前五箇年平均實收高に比すると十五萬一千八百五十五石の減少で四萬一千七百六十七石の實收を見た本縣は全國府縣の第二十四位である。

統計調査員異動

(上は新任括弧内は舊)

昭和十二年九月二十二日 新治郡林村
櫻井 藤三郎 (増田 政雄)
全 九月十五日 久慈郡黒澤村
鈴 木 實 (鈴木 長男)
全 十月七日 猿島郡七重村
相澤 倉重 (飯田 三四郎)
全 十一月十二日 筑波郡小野川村
櫻井 正夫 (櫻井 紘)

統計主任者異動

(上は新任括弧内は舊)

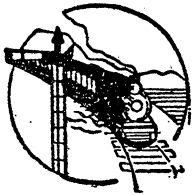
飯野 寅雄 (柳澤 龜之助)
全 十月十四日 久慈郡佐竹村
岡崎 駿三郎 (赤須 種吉)
全 十月二十二日 行方郡延方村
茂木 威 (久保木 實)
昭和十二年九月十五日 稻敷郡阿波村
木内 俊一 (野口 芳次郎)
全 九月十六日 稻敷郡八原村
大橋 博郎 (寺田 靜一)

調査員諸君

九月二十日 行方郡玉川村
栗 又 勇司 (鬼澤 七郎)
全 九月二十日 眞壁郡新治村
廣 瀨 博 (海老澤 正男)
全 九月二十三日 那珂郡神崎村
澤 畑 一郎 (伴谷冬太郎)
全 九月二十三日 結城郡中結城村
杉山 清祐 (吉川 好香)
全 九月二十七日 筑波郡久賀村
萩原 義男 (羽田 勝太郎)
全 九月二十日 稻敷郡伊崎村
高城 長治 (黒田 早苗)

各地統計雑信

調査員諸君
何なりと齋
つて御通信
を願ひます



顧問推薦

本縣警察部長、茨城縣統計協會顧問
沖野悟氏は十月一日附を以て内務書記
官に榮轉せられ其の後任として内務事
務官兼關東局事務官の宮田笑内氏が來
任せらるゝこととなつたので十月廿九
日同氏を本會顧問として推薦した。

東茨城郡支部總會

統計協會東茨城郡支部では九月十六
日東茨城郡磯濱町役場樓上に於て臨時
總會並事務研究會を開催し、縣より小
泉屬が出席した、最初平輪磯濱町長よ
り支部長代理として開會の挨拶を兼ね

今次事變に關聯し統計の重要性に付き
種々説明ありたる後、昭和十一年度統
計協會東茨城郡支部歳入歳出決算を附
議し、江橋幹事より説明の後滿場異議
なく之を可決せり。次で事務研究會に
移り縣提出議案に付き小泉屬より詳細
なる説明あり、午後一時散會した、出
席者左の通り

(縣)小泉屬(郡統計協會)平輪磯濱町長、
江橋幹事(上大野村)横須賀助役(下大野
村)平戸書記(稻荷村)山田助役(大場村)
飛田助役(酒門村)坂場書記(石崎村)清水
書記(吉田村)皆川書記(綠岡村)中村書記
(上中妻村)藤地書記(長岡村)寺山書記上
野合村)田家書記(白河村)眞家書記(橋
村)林書記(小川町)高野書記(竹原村)大

酒門村統計調査員會

東茨城郡酒門村では九月二十一日午
前九時より統計調査員會を開催、縣統
計課より小泉屬が出席して夏季、秋季
及米生産統計調査に就き打合を行ひ、
調査上に就き種々懇談の後午後二時閉
會した、出席者左の通り。

(縣)小泉屬(役場)郡司助役、坂場書記
(調査員)齊藤徳次郎、秋山清衛、楡山政
徳、谷中博、萩谷由之介、皆川善衛門、
關清次、坂場源一、郡司常吉

竹原村調査員會

東茨城郡竹原村では十月八日午前十

時より統計調査員會を開催、縣統計課より小泉屬が出席して秋季調査及米生産統計調査に付き打合を行ひ、調査上に就き種々懇談の後、午後三時閉會した、出席者左の通り。

(縣)小泉屬(役場)櫻井村長、大貫書記(調査員)佐久正太郎、佐久義助、岡野誠、鈴木忠衛、小沼昌太郎、矢口武雄、仙波吉言、岡崎保、島田桂三郎

西茨城支部統計事務研究会

西茨城支部統計事務研究会は十月十二日北山内村役場に於て開催した、縣統計課より菊池主事補が出席午前十時那支部長代理等開町成田書記の開辭について縣提出事項に就き菊池主事補より詳細説明の後質疑應答を行ひ午後一時閉會した、當日は郡内各町村統計主任者十四名全部出席した。

那珂郡西部統計事務研究会

那珂郡西部統計事務研究会は九月八日山方尋常高等小學校に於て開催、縣より郡擔任の吉見屬が出席した。午前十時開會、瀬尾山方村助役の開辭に次ぎ吉見屬より簡單なる挨拶の後、直に縣の提案事項に就き説明、夫々質疑應答を重ね散會した、尙出席は左の通りである。

(山方村)根本村長、瀬尾助役、高村收入役代理者、立原書記、關書記、小口書記
根本書記(小瀬村)橋本書記(大宮町)藤田書記(壽村)寺門書記(大場村)三村書記(玉川村)森島書記(八里村)田澤書記(野口村)西村書記(楡澤村)岡崎書記(磯郷村)飯田書記(長倉村)古田書記(鹽田村)岡崎書記

久慈郡西部統計事務研究会

久慈郡西部統計事務研究会は十月十九日大子町役場樓上に於て開催され縣より高島屬出席、午前十時開會、高島屬より本年實施される公私有牧野調査に就き提要に依り詳細説明をなしたる

久慈郡西部統計事務研究会は十月十九日大子町役場樓上に於て開催され縣より高島屬出席、午前十時開會、高島屬より本年實施される公私有牧野調査に就き提要に依り詳細説明をなしたる

黒前村統計事務視察

多賀郡黒前村統計調査員十四名は同村統計主任根本直弘氏に引卒され東茨城郡上中妻村の統計事務を視察、歸途縣廳を訪問して川崎統計課長より統計事務に關しての訓話を聞き視察を遂げ記念撮影の上歸村した(口繪参照)

稲敷郡第二部會

稲敷郡第二部會統計事務研究会は十月一日日本新島村尋常高等小學校で開催され縣より高島屬出席午前十時羽生本新島村長開會の挨拶をなし續いて高島屬より縣提出の指示事項注意事項に依り詳細説明あり、ことに本年度より一部改正せられたる米生産統計に付き指示注意ありたる後質疑應答をなし午後一時終了した、出席左の如し

石川書記(江戸崎)澤邊書記(君賀)酒井書記(沼里)黒田書記(鳩崎)飯塚書記(安中)桑名書記(木原)大津書記(君原)宮崎書記

出島部會事務研究会

九月六日午前八時より美並村役場に於て新治郡出島部會統計事務研究会を開催し左記事項の研究をなし正午閉會直ちに慰勞會にうつり盛會裡に午後二時散會した

(一)秋季調査に關する件 (二)統計調査員指導方法並優遇方法の件 (三)米作農家調査に關する件 (四)米生産統計調査に關する件 (五)その他
尙ほ各村主任出席氏名は左の如くである。

(下大津)松葉書記(志士庫)濱野書記(安飾)小室書記(佐賀)折本書記(半渡)長峰書記(美並)松澤書記

筑波郡北部統計事務研究会

筑波郡北部統計事務研究会は去る九月十三日同郡北條町役場會議室で開催され縣より松井統計主事補出席した、午前十時開會、北部會長代理飯岡副會長より開會の辭に次ぎ松井主事補全部擔任の挨拶を兼ね縣提出會議事項により統計の重要性に付き詳細説明をし特に改正せる米生産統計調査に關し慎重質疑應答を重ね午後一時三十分閉會した、出席者左の如し

(吉沼村)杉山書記(高道祖村)飯岡書記(作岡村)高橋書記(田水山村)松崎書記(菅間村)小笠原書記(筑波町)酒寄書記(田井村)櫻井書記(北條町)飯竹書記(小田村)平塚書記(大穂村)柳町書記

筑波郡中部統計事務研究会

筑波郡中部統計事務研究会は十月六日同郡眞瀨村役場で開催され縣より松井統計主事補出席した、午前十時、眞瀨村長不在の爲松井主事補開會の挨拶をなし縣提會議事項に付き松井主事補

より統計の重要性に付き詳細説明をし改正せる米生産統計調査に關し質疑應答を重ね午後一時閉會した出席者左の如し。

- (谷田部町)直井書記(島名村)鯉淵助役
- (上郷村)石濱書記(福岡村)大久保書記
- (小野川村)成島書記(葛城村)中島書記
- (加村)佐々木書記(眞瀨村)宇津野書記

筑波郡南部統計研究會

筑波郡三島村では十月十五日全村役場會議室に於て南部統計事務研究會を開催、縣統計課より同郡擔任の松井統計主事補が出席し午前十時半南部研究會長代理三島村々長の開會の辭に次で松井主事補より研究會々議要項により詳細説明の上質疑應答を重ね午後一時半閉會した、出席者左の如く。

- (三島村)直井助役(長崎村)文倉助役(小張村)山口書記(板橋村)中島書記(谷井田村)荻生書記(久賀村)荻原書記(豊村)渡邊書記(十和村)古谷書記(鹿島村)欠席特

別出席者保科三島村長

猿島郡南部統計事務研究會

猿島郡南部統計事務研究會は去る九月十四日飯島村役場に於て開催され縣よりは菊池主事補が出席した、午前十一時田村々長の開會の挨拶あり菊池主事補より縣提出の會議要項に依り詳細説



明ありたる後質疑應答をなし午後二時終了した、出席者左の如し。

- (飯島村)田村村長、岡田書記(岩井町)大島書記(七重村)花島書記(岩掛村)立入書記(弓馬田村)渡邊書記(神大實村)羽富書記(七郷村)南書記(中川村)野口書記(飯島村)統計調査員(森武男、林福三郎、染谷林助、新井二三、木原茂作、加藤甚一)

施實の査調刈坪合集

十月十二日、此の日午後より雨となり全員ずぶぬれとなつて各自分業的に七個所の刈取を完了した。晚餐を共にする頃早乙女調査員(宮真後列右端)に重大使命下り奇しくも晚餐は出征祝宴とかり、記念撮影となる。東洋平和の確立と暴戾なる支那軍を斷乎崩壊すべく我等の調査員は勇躍出征の途についた。

(下妻町統計主任)

短歌 丹 四郎選

『秋雜詠』『空』

結城郡豊加美村 沼尾 蛙村
いさゝかのいとま惜しみて仕立てたる
懸崖菊は咲き初めにけり
一面の莠が中にぬき出でしあかさはす
でに色づきにけり
ひとしきりぬるでの紅葉夕映えて風う
そ寒く日は昏れんとす
月讀の光さやけき庭に出て稻扱きはげ
むその夜更けまで
北相馬郡東文間村 宵雪 迂人
家裏の並木はなれし月明り障子に映つ
す穂すゝきのかげ
十三夜の月さやかなる庭の面に散りこ
ぼれ居り白萩の花
水戸市袴塚町 大高 靜香
秋もはや寒さ身にしむ小夜更けをなく
こほろぎのこゑもほそりぬ
やしろ守りみ庭きよめて落葉焚く煙と
ともに秋を果てぬる

明治節の佳き日を期して皇軍の進撃の
ニユース聴くだに潔し 四郎

次回課題『冬雜詠』『國旗』

俳句 前田猶春選

『晚秋雜詠』

新治郡瓦倉村 増子よし女
汽車を待つたつた獨りや草紅葉
皮剥ぎの子は子と遊び秋祭
秋風や糊にこはる指のさき
同 藤澤村 愛村 耕夫
橋脚にあたる夕陽や末枯るゝ
うまや路の家並静かに干菜かな
出征の旗たてて秋の山家かな
北相馬郡東文間村 堀越 正直
盗まれし机の豆や十三夜
水戸市袴塚町 大高 靜香
野葡萄の實の落ちつくす野分かな
北相馬郡守谷町 長谷川憲太郎
野の草の枯れつくしたる淋しさよ
東茨城郡石崎村 櫻井 星光
坪刈りの旗たつ丘や秋日和
初霜や置き忘れたる植木鉢
行方郡大和村 内田六統生
鶴竿も枝の囲も夕日かな
秋ふかし神馬に貼りし干社札
賜なくや夕日さしたる樹原
★秀 逸(賞)
新治郡瓦倉村 増子よし女
降る中に澄む澤水や草紅葉
菊を見る指の太さやお百姓
ぬかづけばがさつく注連や風の秋

次回課題『冬季或は正月雜詠』

川柳 山中緋郎選

『防空』

北相馬郡東文間村 宵雪 迂人
空襲へ友の安否の氣づかはれ
新治郡藤澤村 岩田 雅木
防護國本部何やらわめきたて
行方郡武田村 大和田好月
防空へサーチライトの頼母しさ
水戸市袴塚町 大高 靜香
毒瓦斯へちとらうたへる救護班
鹿島郡豊郷村 鈴木 拳兒
空襲をふつと恐れる月の牙え
眞壁郡川西村 佐藤 紫水
灯を消して闇へ響へる防護團
那珂郡中野村 川又 靜一
防空の演習へもう寝ると決め
久慈郡大子町 宮川 一郎
防空の監視へ今日もつゝがなし
那珂郡磯郷村 青柳 春男
防空へこの傳令の聲もかれ
水戸市 本郷統計子
身拵ひだけでは困る防護團

次號課題『雜詠』

縮切 十二月二十日

宛名茨城県内統計協會

茨城統計と廣告の 効果

『茨城統計』は縣下三百七十九ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種團體、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

◆本誌の廣告料金は左の通りです

- 特別(一頁(表紙表裏)) 金拾五圓
- 特別(半頁(同)) 金八圓
- 普通(一頁) 金四圓
- 普通(半頁) 金貳圓
- ▼同一廣告を引續き二回以上るときは一割五分、五回以上るときは二割の割引をします。
- ▼廣告に寫眞挿入又は木版を要するものは其の費用を別に申受けます
- ▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内

茨城縣統計協會

編輯後記

★ 支那事變が始まつて半歳に垂んとして居る。出征將兵の盡忠君國に奉ずる奮戦が北支に又は中南支に戦果を收めつゝあることは、國民等しく感激に堪へないところである。縣下の統計關係者も多數出征して困苦欠乏に堪へ暴敵と戦ふ状況を見聞しては自ら頭の下らざるを得ない。

★ 銃後運動は皇軍の進出につれて拍車をかけ國民精神總動員はいよゝゝ根強い隣保互助の握手となつて津々浦々に成果を收めて居る。本誌には林知事の『國民精神總動員に際し皇國日本の真姿顯現を望む』と題する大講演の筆記を巻頭に飾り得た事は欣快に堪へない。

★ 一面讀者諸君の玉稿が余り得られなかつた事は事變が反映した爲だらうとはいへ淋しい限りだ。公私御多忙の事とはお察しするが『茨城統計』を思つて御投稿を願ひす

る次第である。

★ 早いもので本年も本誌を以つて終刊である。不敏非才、願ひて慥懣たらざるを得ない。向寒の候御自愛加餐いよゝゝ減私奏公以つて邦家の爲御健闘を祈ると共に目出度く御越年あらん事を。編輯子も亦魯鈍に據つて筆硯を新にし新春の誌上に見えん事を期する次第である。

— 加藤敬愛 —

昭和十二年十一月十三日印刷
昭和十二年十一月十五日發行

(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳

茨城縣統計協會内

發行兼編輯人 川崎末吉

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷人 柴博

印刷所 柴印刷所

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内

發行所 茨城縣統計協會